



建築のご相談で、「家が完成するまでどの位かかりますか?」とよく聞かれます。それぞれの計画で違います。あると思いますが、「順調に進んでも、設計から完成まで1年はかかりますね!」とお答えしています。ですが、それは建築自体に掛かる期間なので、それまでのアイドリング期間も必要な時間だと感じます。Tさんのケースは、ちょっと長いアイドリング期間かもしれません。一度建てた家は一生暮らす家になる訳ですから、家のスタイルや間取り、仕様などをじっくり考えていく事はもちろんの事、子供の教育やご両親との関係も考えていかなくてはいけません。バタバタと、仕様や性能ばかり比べて決めていくのではなく、じっくりと時間を掛けて、心地よく暮らすための家造りを考えていくことは、とても重要な事だと思います。

Tさんも、ご両親との同居スタイルをあれこれ悩んでいました。ご両親の敷地内に建築することは決まっていましたが、新居を建てる場所や、母屋とのつながりをいろいろと検討しました。最終的には主屋への影響を考慮され、主屋に隣接させる形で新居を計画しました。この場所はもともと離れ住居が建つており、Tさんも暮らしていた場所ということで、そのときの経験を生かして、風の流れや光の方向などを考慮した窓配置をしていきました。



北側からの外観。ロフトに設けた排気用の連続窓。屋根形状を利用して、風の通り道を確保している。

空間づくりと木組み。

外観から見ると、Tさんのお宅は大きな片流れ屋根が特徴的です。そして、屋根の一番高い場所に設けられた連続窓も印象的な建物だと思います。この屋根形状は、太陽光発電パネルを乗せる為に必要な形状だった訳ですが、その屋根形状を利用して、屋根の一番高い所にロフトを設け、合せて、夏場の暑い空気を排氣する横長の連続窓を設けました。この窓を開ける事によって家の中に風の道が出来、室温だけではなく、風を体感することで涼感を得ることが出来る家になると考えました。

また、ロフトは天井の高さを注意することで床面積に含まれないので、1、2階に収納場所が取れない場合に有効なスペースです。屋根形状を最大限利用して、快適に暮らす工夫を考えていくことが出来た家になったと思います。

完成現場報告／静岡市

『SO-RAの家』

文：山崎健治／写真：古屋絵理

「SO-RAの家」と題したTさんお宅は、昨年の10月から工事を行い、今年の春に完成了。設計期間を含めて1年半程の全体工期でしたが、実は、Tさんとの付き合いは長く、今年で6年目になります。



家造りの前に…。

はじめてお会いした時は、"若々しい夫婦"という印象で、「将来は家を計画したいが、まだ家族の生活のイメージが出来ないので、じっくりと考えていきたい。」と話していました。その後、勉強会に参加していただいたり、いろいろな現場を見ていただき、会う度にたくさんの話をさせていただきました。そんな期間の中、Tさんご家族は2人のお子さんにも恵まれ、徐々に家族の暮らし方のイメージが見えてきたのではないかと思います。



SO-RAの家のタイトルに相応しく、大きく葺き下ろした屋根には、太陽光発電パネルが設置されています。発電量は、少し大きめの5キロワットです！



特集／
「ココラボのオリジナル仕様」Part2

連続できる「天窓」。

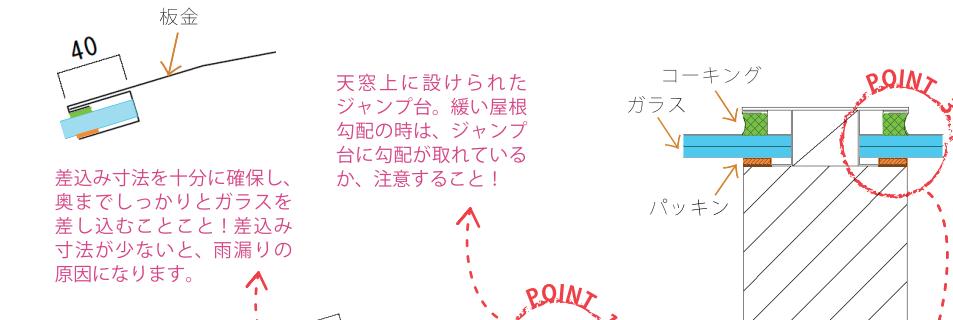


「SO-RA の家」のペランダ屋根に設けられた天窓。合計 8 枚の天窓が連続している。
ペランダから見上げた様子。横長に設置された天窓は、ペランダ全てを明るくしてくれる。

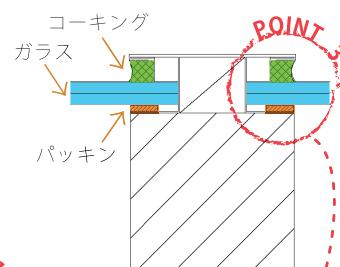
手順①『大工の仕事』▼



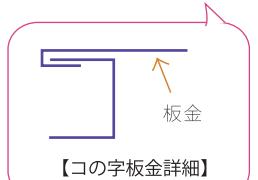
屋根面を開口し、天窓の下地を組んでいます。屋根工事と平行して進むので、手早く製作することができます。そしてこの時、板金屋さんの仕事を考慮して、下地材の高さや勾配を確保していくことが重要です。



差込み寸法を十分に確保し、奥までしっかりとガラスを差し込むことこそ! 差込み寸法が少ないと、雨漏りの原因になります。



垂木の上部にコの字型の板金を取り付けることで、天窓を連続していくことが出来る。2つのコの字板金を囲むように、屋根となる板金を下から差し込んでいく。

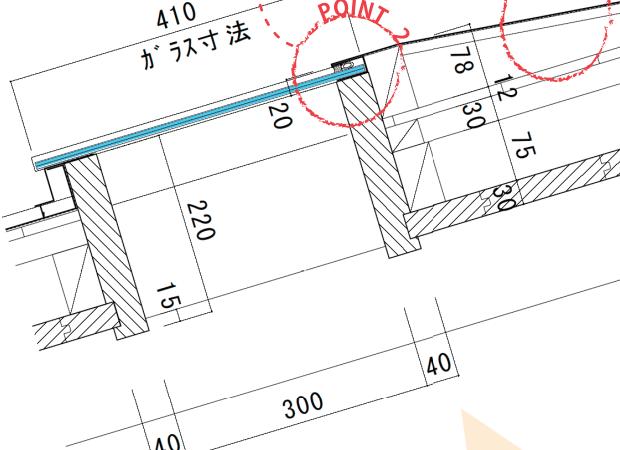


【コの字板金詳細】

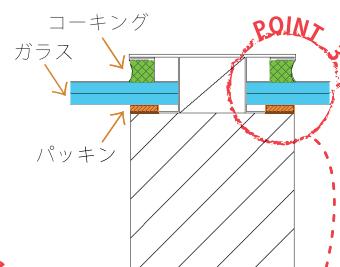
手順②『板金屋の仕事』▼



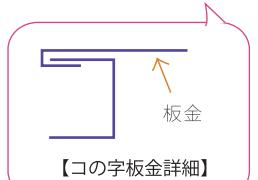
大工の作った下地に合せて、ガラスの差込み部分を造っていきます。ガラスは下から差込むので、3方にコの字型の板金を取り付けます。板金の折りひつで、雨仕舞が左右されるので、とても重要な役割です。



天窓上に設けられたジャンプ台。緩い屋根勾配の時は、ジャンプ台上に勾配が取れているか、注意すること!



垂木の上部にコの字型の板金を取り付けることで、天窓を連続していくことが出来る。2つのコの字板金を囲むように、屋根となる板金を下から差し込んでいく。



【コの字板金詳細】

手順③『ガラス屋の仕事』▼



板金屋さんのお手伝いをして、ガラスを下から差し込みます。ガラスと板金の間に隙間が生じないように、パッキン材やコーキング材を用いて、雨仕舞をしていきます。屋根面なので、強化ガラスや合わせガラスを用いていくのは当然ですが、室内に設置する時は、上記に加えて複層ガラスとします。

天窓を設置する時は、方角と大きさを注意しましょう!
無闇に設置すると、夏場暑くて大変に...。



広間から畳コーナーを眺める。
個室としても利用できるように設けた和室だが、現在子供達の寝床として活躍している。



1: 2階に設けたスタディルーム。縁側のような、心地良さでちょっとゆったりとした時間を過ごすことが出来る。

2: 将来の子供部屋として設けた部屋だが、現在は全て畳敷きとし、家族みんなの寝室となっている。広い畳部屋はまるで柔道場のようだ。

3: 玄関正面の塗り壁は、一風変わった磨き仕上げとなっている。左官屋さんの遊び心がうかがえる。

屋根形状と合わせて特徴的なのは、板倉構法を主体にした、頑丈な木組みの床を支える2本の梁は、赤松の太鼓梁を使いました。赤松は、松食虫の被害が深刻で昔ほどどれくなってしまった材料ですが、材に粘りがあり、とても丈夫な梁材です。吉民家などに見る黒光りした梁材の多くも赤松を使用しています。



仕様内容

家族構成	家族 4 人
敷地面積	183.05 m ²
建築面積	69.56 m ²
延べ床面積	115.93 m ²
構法	板倉構法 2 階建て
外 壁	ガルバリウム鋼板 縦張り葺き ガルバリウム鋼板 角波縫張り アルミサッシ(ペアガラス)
内 壁	化粧野地板現し + 杉 J バネル現し 落し込み板現し + 漆喰塗り 杉本実板
天井	内部建具 カバ+杉 / オリジナル ユニットバス/TOTO
壁	浴室、洗面 / TOTO
床板	リビング
内部建具	キッチン / オリジナル
浴室	和室
設備	ダイニング
浴室、洗面	玄関
設計者	山崎健治
施工	有限会社こころ木造建築研究所



冒頭にもお話をしましたが、Tさんとの出会いから 6 年の歳月が経ちました。まだ、設計事務所として独立したばかりの私の話に耳を傾けていたいただいた事に深く感謝しています。そして、木への理解、板倉構法への理解をいただき、建築を任せていただいた事は、私にとって強い自信にもつながり、今後のステップへ結びつくと思います。完成した後も、単に施工と建築屋と言ふ関係に留まらず、快適な暮らしをしていく為のパートナーとして、お付き合いさせていたいだきたいたいと思います。2人のお子さんの成長と共に、この家の成長を楽しみにしています。

理解への感謝。

最近では杉材の活用ということで、梁や柱などの構造材のほとんどを杉材で作るケースが増えてきましたが、材の適材適所ということで、力の掛かり具合に合わせていろんな樹種を選択していく事も、一つの方法だと感じています。